

新開発の布マスクを特許出願してプレスリリース

相談カテゴリー：特許

会社概要

西野工房（伊那市）

西野工房は、洋服の直しなどを手掛ける一方、自然素材で環境に優しいヘンプ（麻）を使用した洋服を開発し、販売しています。

新型コロナウイルスの影響でマスクが生活必需品となることから、夏は涼しく冬は暖かく、消臭、抗菌、調湿機能もあるヘンプの良さを活かしたマスクを開発しました。

一般的のマスクは、鼻の形で着け心地が変わったり、仕事などでよく話す人とあまり話さない人ではマスクに求める形が異なったりすることから、熟知している生地の特性を活かし、使用する人が求める着け心地を選べる布マスクを開発されました。



きっかけ

・相談内容

使用する人の異なる要求によって着け心地を選べる布マスクを開発したことから、この布マスクについて、特許又は実用新案で保護したいと考えましたが、特許出願について知識がなかったため、まずは知財総合支援窓口に相談がありました。

支援内容・ポイント

着け心地を選べる布マスクは、一見すると普通の布マスクのように見えますが、開発のポイントについて詳細に説明していただきました。その結果、長年布地を扱ってきた人でなければ気が付かない布地の性質を匠に使い、地の目を上端部と下端部で変え、上下の伸縮性を異ならせることに着目し、これにより、上下を切り替えることで好みの着け心地を選んで着用することができる布マスクとして、特許出願することをアドバイスしました。



成 果

洋服の直しなどを生業としている工房は、常にお客様の好みに応じた洋服を開発していますが、特許等の知的財産に無縁と考えています。しかし、競合する多くの工房と差別化し、収益を高めるために、知的財産を使うことが有効な手段であることに気付いてもらいました。

特許出願した布マスクは、商工会議所を通じてプレスリリースされ、今後の販売促進に繋がるものと期待されます。